

令和8年度 青木村保育園の取り組み計画について

ねらい	内容（継続していく取り組み）
①保小中一貫教育	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の児童生徒や教諭との交流保育、体験保育の実施 小学校＝音楽会リハーサル見学・ハロウィン・焼き芋会・児童会祭・運動会などへの参加・小学校体験入学 ・中学校＝職場体験学習、保育体験教職員＝保育体験 ・丁寧な就学相談の実施と情報の交換（共有） ・保小接続プログラムの検証と効果的運用 ・教育ポイント5ヶ条の推進
②多様な他者や自然とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・外遊びを中心にした遊び込み ア、あおきっ子広場の活用 イ、村内の施設（くつろぎ公園・ふるさと公園・豊受神社など）の活用 ●異年齢保育の取り組み ・祖父母、小中学生、ボランティア、大学生等とのかかわり ア、行事への参加…畑・水田の作業（祖父母）、保護者会作業、保育体験（中学生・大学生） イ、レポートあおき（高齢者施設）の訪問及び交流 ウ、民生児童委員または保護者会役員の積極的な行事参加（サンタさん、お餅つき会、まゆ玉づくり、お正月遊びなど） ・村内各種団体との交流 （・リフレッシュパークサマーチャレンジ・桑の実摘み体験・義民太鼓・サッカー教室 ・あおきカフェの参加など）
③学力・体力向上 (学力・体力向上事業)	<ul style="list-style-type: none"> ・体力づくり ア 園庭の遊具、室内遊具を使ったサーキット遊び イ リトミックや縄跳びなど ウ 散歩・・・青木村の自然や史跡等を教材とする ・信州型自然型保育への取組（青木村型やま保育の実践） ・基本的な生活習慣におけるスモールステップの研究 ・ALTの活用…外国語への親しみと文化の学習
(評価システムの構築)	<ul style="list-style-type: none"> ・育ちの評価……保育の記録（発達の状況） ・やったるカード等による記録と評価 ・個別支援計画の作成及び振り返り ・人権擁護のためのセルフチェックリストによる保育の振り返り（不適切保育の振り返り） ・ご意見ご要望箱の設置
④子どもと向き合う時間の確保	<ul style="list-style-type: none"> ●図書館の利用……おはなし会等事業への参加、図書の貸し出し、推薦図書の紹介（※項目変更） ・延長保育での絵本の読み聞かせの実施 ・子どもと向き合う保育の充実（マップ式指導計画作成） ・参加型保育参観の導入 ●ドキュメンテーション式お便りの導入 ●乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の導入
⑤一人一人を大切に にする教育	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障害のある幼児への支援体制の整備 ア、カウンセラーの定期的な訪問（育ちの確認、職員への指導、相談） イ、支援の必要な園児とその保護者、双方への支援、たんとキッズあおきとの連携の強化（適切な医療受診への移行を行う）、森泉先生の言葉の教室 ウ、発達障害に対する理解（全園児・保護者への啓蒙）→園のしおりへ掲載する エ、かんがるー教室、わくわく広場への保育士参加を行うと共に未就園児から保育園入所に向けてのスムーズな移行を行う ・個別支援計画の作成及び、就学に向けた関係機関の調整 ・園内研究会の実施（園内公開保育及び情報の交換と共有） ・グループ毎の事例検討会・子どもと向き合う保育の充実 「やってみたい」の意欲を引き出す保育と環境設定環境設定（遊びの時間の確保） ・定住自立圏事業・郡の協議会による研修等の機会を活用した保育士の資質向上及び各種研修会への積極的な参加 ・長和町との交流参加保育を行う